

平成26年度スーパーグローバルハイスクール構想の概要

指定期間	ふりがな	とやまけんりつたかおかこうとうがっこう				②所在都道府県	富山県			
26～30	① 校名	富山県立高岡高等学校								
② 対象学 科名	④対象とする生徒数					⑤学校全体の規模				
	1年	2年	3年	4年	計	学科名	1年	2年	3年	計
人文社会科学科 (1～3年)	281	281	29		591	普通科	201	202	200	603
理数科学科 普通科 (1, 2年)						24	22	29	75	
						56	57	51	164	
合計						281	281	280	842	
⑥研究開発 構想名	ふるさとに誇りと愛着を持ったグローバル・リーダーの育成									
⑦研究開発 の概要	「活き活きと世界に輝くふるさと富山の研究と世界への発信」をメインテーマとした課題研究を中心に、「幅広い教養と課題解決力を備えるとともに、ふるさとに誇りと愛着を持ったグローバル・リーダー」を育成する教育課程の研究・開発を行う。									
⑧ 研究 開発 の 内容 等	⑧ -1 全体	<p>(1) 目的・目標</p> <p>現在の課題研究と体験的・探究的な学習プログラムをベースに、さらに海外に視野を広げた充実した探究的な学習活動を実施し、グローバルな社会・ビジネスの課題を発見し、解決していく「探究力」や、ふるさとを世界に発信する「情報発信力」「実践的な英語力」を育成する。</p> <p>(2) 現状の分析と研究開発の仮説</p> <p>① 現状の分析</p> <p>本校に探究科学科（理数科学科と人文社会科学科の総称）が設置され4年目となる。1年次には、情報の収集、分析、発表を少人数のゼミ形式の学習で実施してプレゼンテーションを能力の向上に努め、2年次には、課題研究のテーマ設定、研究、発表に至るまで、大学教官の助言も受けながら、長期にわたって研究に取り組んでいる。また、フィールドワーク等、様々な体験的・探究的な学習活動や、人文社会科学科の英語ゼミ、理数科学科の数学ゼミの実施により、探究科学科の学習の充実に努めている。</p> <p>実践的な英語力については、平成24年度から「とやまの高校グローバル人材育成促進事業」において4技能（読む、書く、聞く、話す）の向上を目指した研究に取り組んでいる。富山県の英語ディベート大会で優勝、全国大会に出場するなど実績を上げている。</p> <p>昨今、社会経済が急激にグローバル化していることから、世界で活躍できるグローバル人材の育成が求められている。そのため、本校の探究科学科や「とやまの高校グローバル人材育成促進事業」における取り組みをベースに、グローバルな社会・ビジネス課題をテーマとした課題研究を企業や国際機関等と連携して実施することが課題である。</p> <p>② 研究の仮説</p> <p><仮説1>ふるさと富山について様々な観点から研究を行い、それを世界に発信する課題研究を実施することにより、ふるさとに誇りと愛着を持つ心が育成されるとともに、課題設定力、課題解決力、さらに、自己発信力が高まる。</p> <p><仮説2>海外在住のグローバル人材とのインターネット交流体験でグローバルなビジネス課題を知ることや、海外からの留学生によるワークショップなどで異文化理解を深めることにより、将来、グローバルに活躍したいと思う生徒が増加する。</p> <p><仮説3>海外研修を実施し、課題研究の成果等を英語で発表し、質疑応答をすること、そして、現地のグローバル企業で活躍する人材と交流することにより、グローバルなビジネス課題に関する課題研究が深まるとともに情報発信力、実践的な英語力が伸長する。</p> <p>(3) 成果の普及</p> <p>① 探究科学科3校合同課題研究発表会</p>								

		<p>ポスターセッションによる公開合同発表会と研究集録の作成。</p> <p>② 探究科学科3校教育研究委員会 課題研究及び探究的な学習のあり方、ルーブリックによる評価手法等の研究協議。</p> <p>③ 他県のSGH実施校との交流 成果と課題、解決方法等に係る情報交換。</p>
<p>⑧ -2 課 題 研 究</p>		<p>(1) 課題研究内容</p> <p>(a) 環日本海の環境保全に向けた調査研究 国連機関NOWPAP (Northwest Pacific Action Plan) と連携し、本県と密接に関連した北東アジア地域の環境問題に取り組む。</p> <p>(b) ふるさと文学・伝統文化や新たな文化研究と海外への発信 万葉集やふるさと文学への理解を深め、海外文学・伝統文化等との比較や、英語論文等による海外への発信について研究する。また、アニメなど富山に関わりの深い新しい文化の研究と海外への発信、観光誘致への活用等について研究する。</p> <p>(c) 富山の地域資源を生かした国際ビジネスや国際観光戦略の研究 地域産業の海外進出戦略や海外からの観光誘致戦略等の研究をグローバル企業や自治体と連携して研究する。</p> <p>具体例：「富山湾と蜃気楼」、「雪と暮らす富山の魅力」</p> <p>(2) 実施方法・検証評価</p> <p>① 実施方法</p> <p>(a) 外部専門機関等との連携 大学、国連機関、万葉歴史館、国内外のグローバル人材等と連携し、課題設定、課題研究、成果発表時に、指導助言を受ける</p> <p>(b) 生徒海外研修及びインターネット交流 課題研究のフィールドワーク・成果発表・協議の場として、海外在住グローバル人材、専門家、学生との交流</p> <p>② 検証評価</p> <p>(a) ルーブリックによる探究科学教育研究会における評価</p> <p>(b) 3校合同発表会での自己評価・相互評価及び指導する大学教官の評価</p> <p>(c) 課題研究への取り組みに対する自己評価、指導教員・大学教官の評価</p> <p>(d) 海外留学やグローバルな仕事、ふるさとへの意識変化に対する生徒アンケート</p> <p>(e) 探究活動への満足度、理解度、生徒の変容に対する保護者アンケート</p> <p>(f) SGH運営指導委員会の評価 等</p> <p>(3) 必要となる教育課程の特例等 なし</p>
<p>⑧ -3 上 記 以 外</p>		<p>(1) 課題研究以外の研究開発の内容・実施方法・検証評価</p> <p>内容・実施方法</p> <p>(a) プレゼンテーション能力向上のための少人数ゼミ</p> <p>(b) 立山実習、探究科学探訪、富山大学出前講座</p> <p>(c) 各種コンテスト・資格試験へのチャレンジ</p> <p>検証評価 学習活動に関わる発表に対する自己評価、相互評価、授業担当教諭の評価等</p> <p>(2) 課題研究の実施以外で必要となる教育課程の特例等 なし</p> <p>(3) グローバル・リーダー育成に関する環境整備、教育課程課外の取組内容・実施方法 ○「EUがあなたの学校にやってくる」などの国際理解教育に関するワークショップを必要に応じて実施</p>
<p>⑨その他 特記事項</p>		